

SGH基調講演会

5月7日（月）に長崎大学の河野茂学長によるSGH基調講演会を開催しました。河野学長は、高校1年生・中学3年生に対して「18才から備える自分の健康と未来」というテーマでご講演くださり、これからのSGH研究において何に向かって進めばよいかを示してくださいました。

「めまぐるしい変化に対応するには、学習、想像力そして挑戦する力が必要である」とのご指摘に、生徒たちはこれからどのような高校生活を送るべきかについて、大きな展望を抱くことができました。また、「想像し挑戦していくには、知識量、分析力及び好奇心が必要である」とのお言葉を受け、多くの生徒がSGH探究活動にチャレンジしようという意欲を高めました。

ご専門である呼吸器疾患の中から肺炎について具体的にご説明いただき、喫煙の害や口腔ケアの重要性について大変興味深いお話をしてくださいました。また、運動・睡眠・過食など身近な話題からがんや性感染症など多岐にわたる健康問題をご紹介いただきました。生徒から

は「長崎市の高齢化問題を調査してみようと思います」「肺炎というひとつの病気から、医療だけでなく環境や工学面からのアプローチができるというお話がとても参考になりました」などの感想が聞かれました。



SGH講演会



5月9日（水）に長崎大学経済学部の山口純哉准教授によるSGH講演会を開催しました。「ともに良き世を創るために～課題研究の作法と長崎の課題～」というテーマで、先生のご専門である「災害からの復興へ向けた社会貢献事業（ソーシャルビジネス）」を紹介いただきました。また、これからSGH探究活動を進める生徒に向けて、課題研究の目的や意義、課題研究を行ううえで大切な姿勢について大変わかりやすくご説明いただきました。生徒は他者とのコミュニケーションや物事を批判的に考えることの大切さに気付いたようです。離島医療や海洋産業の創出など長崎が抱える問題や今後取り組むべき課題についても提示して下さり、今後の探究活動へ大きなヒントを得ることができました。